

平成 17 年度 秋期 アプリケーションエンジニア試験 解答例

午後 試験

問 1

設問		解答例・解答の要点				備考																						
設問 1		標準指標値から外れている業務名		受注出荷		と は順不同																						
		標準指標値から外れた原因	現場責任者が参加したので，レビューに時間を要した。																									
		標準指標値から外れている業務名		会計																								
		標準指標値から外れた原因	新規開発規模ではなく，想定規模で管理項目を算出している。																									
設問 2	(1)	<table><tr><th rowspan="2">担当者名</th><th rowspan="2">プログラム名</th><th rowspan="2">規模 ( ks )</th><th colspan="2">予定</th></tr><tr><th>開始日</th><th>完了日</th></tr><tr><td>Z 君</td><td>pg03</td><td>1.0</td><td>8</td><td>10</td></tr><tr><td>Y 君</td><td>pg04</td><td>0.8</td><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>X 君</td><td>pg05</td><td>0.4</td><td>8</td><td>9</td></tr></table>				担当者名	プログラム名	規模 ( ks )	予定		開始日	完了日	Z 君	pg03	1.0	8	10	Y 君	pg04	0.8	9	10	X 君	pg05	0.4	8	9	
	担当者名	プログラム名	規模 ( ks )	予定																								
開始日				完了日																								
Z 君	pg03	1.0	8	10																								
Y 君	pg04	0.8	9	10																								
X 君	pg05	0.4	8	9																								
	(2)	担当者ごとのスキルに違いがあること																										
設問 3		問題がある業務名	発注仕入			と は順不同																						
		問題点	バグ摘出が不十分であり，バグが残っている。																									
		問題がある業務名	会計																									
		問題点	バグ未対応件数が多く，品質が低い。																									

問 2

設問		解答例・解答の要点			備考
設問 1	(1)	機 能	並行承認		
		承認者	国際課長，経理課長		
	(2)	8.5			
		5.5			
		3.5			
設問 2		承認済項目を修正しても，その項目の承認が必要な承認者に案件が回付されない。			
設問 3	(1)	郵送済の領収書がどの出張精算案件に該当するか分からなくなる。			
	(2)	システム管理者が人事異動によって回付ルートが変更となる未承認案件を差し戻す。			

問 3

設問		解答例・解答の要点		備考	
設問 1	a	会員契約状態コード		順不同	
	b	会員有効期限			
	c	返却予定日			
	d	商品種類コード			
	e	1			
	f	1..10			
設問 2	会員契約状態コードが“ 解約済 ” 以外のレコードで、氏名，住所及び生年月日が同じレコード				
設問 3	(1)	g	商品種類コード		
		h	貸出期間コード，商品種類コード		
		i	単価		
		j	貸出期間コード，本日日付		
	(2)		・ 会員契約状態コードが“ 契約中 ” かをチェックする。 ・ 本日日付と会員有効期限から期限切れをチェックする。		
	(3)	貸出中本数の更新を行うクラス名	会員クラス		
		活性区間の最初のメッセージ	会員情報更新		
設問 4		属性名	返却日		～ は順不同
		値	本日日付		
	属性名	貸出延滞料金			
		値	貸出商品の延滞料金を加えた値		
	属性名	貸出中延滞本数			
		値	延滞していた商品の本数を減らした値		
	属性名	延滞料金			
		値	延滞日数に延滞 1 日分の単価を乗算した値		
	属性名	貸出状態コード			
		値	返却済		
	属性名	最終来店日			
	値	本日日付			

問 4

設問		解答例・解答の要点		備考
設問 1	a	出荷処理		
	b	発注処理		
	c	加工作業実績管理		
	d	倉庫管理		
	e	経費管理		
設問 2		販売管理	売上情報 又は 売掛金情報 又は 入金情報	
		在庫管理	入出庫情報 又は 棚卸情報	
		加工管理	製品原価情報 又は 仕掛品原価情報	
		仕入管理	仕入情報 又は 買掛金情報 又は 支払情報	
		財務管理	受取手形情報 又は 支払手形情報	
設問 3	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見積処理</li> <li>・ 資材所要量計画</li> <li>・ 連結決算処理</li> </ul>		
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売単価の確定を売上計上時にできるようにする。</li> <li>・ 在庫管理で寸法別の管理もできるようにする。</li> <li>・ 手形管理の機能を追加する。</li> <li>・ 寸法入力による重量や価格の自動計算機能を追加する。</li> </ul>		
設問 4		経営面からの理由	全社の経営状況の把握や環境変化への対応を早期に実現することを最優先とするから	
		システム面からの理由	既存システムとの連携開発での開発コストやテスト作業時間を省けるから	